「認知症になっても安心して暮らせる地域へ」
認知症のことを知る展示・相談などを開催

認知症は、誰にでも起こり得る脳の病気です。高齢化が進む中で、認知症になる人も増加しています。認知症になると、記憶する、判断するなどの認知機能が低下しますが、何もできなくなるわけではありません。周囲の人の少しの支援があれば、その人らしい生活を送ることができます。

市は、9月の認知症月間に合わせて、認知症のことを多くの人に知ってもらうためのイベントを開催します。この機会に認知症について考えてみませんか。

詳しくは、本高齢者安心課(TEL㉒2179)へ。

とき 9月8日(月)～12日(金)午前9時～午後4時

ところ 市役所本庁舎市民ホール

内容 ▼参加型の展示「認知症とともに生きる木」

認知症の人やその家族へ向けたメッセージや、認知症の人が安心して暮らすためにどんな街になってほしいかを、来場者が木のモニュメントに貼る、参加型の展示です。

皆さんの思いが木を育てます。ぜひ、会場に立ち寄り、メッセージを寄せるとともに、展示を通して認知症に対する思いを見てください。

〈木のモニュメント設置場所〉
▽市役所本庁舎市民ホール▽JR渋川駅(9月8日(月)～12日(金))▽市立図書館(9月8日(月)～24日(水)※休館日を除く)

▼パネル展示

▼認知症に関する本の紹介

▼もの忘れ相談

▼認知症本人大使の動画上映

▼オレンジライトアップ

東京電力パワーグリッド(株)渋川支店の鉄塔を、オレンジ色にライトアップします(午後6時30分～8時30分)

ホームページID 12490

▶昨年のライトアップの様子

「認知症サポーターのいるお店」を募集中
地域で認知症の人を支えましょう

市ホームページはこちら▶

市は、地域で認知症の人を支える取り組みを推進するため、認知症サポーターの養成および配置に積極的な事業所などを「認知症サポーターのいるお店」として登録しています。登録店には、登録済みを証するステッカーを交付します。

登録店であることを表示して、認知症の人やその家族が安心して買い物などができるように、ご協力をお願いします。

詳しくは、中央地域包括支援センター(本高齢者安心課内・TEL㉒2179)へ。

〈認知症サポーターとは〉

認知症を正しく理解し、支援する応援者で、養成講座を受講すれば、誰でも認知症サポーターになることができます。

登録要件 認知症サポーターが1人以上在籍し、認知症の人やその家族に優しい対応を心がけてくださる市内にある企業、団体、店舗、事業所など

登録店が取り組むこと ▷ステッカーの掲示 ▷認知症の人やその家族への温かい見守りと優しい対応

登録方法 申請書(中央地域包括支援センターまたは市ホームページにあります)を中央地域包括支援センターへ提出